

指定管理者運営評価シート

年度	平成26年度
所管課	スポーツ振興課

1 公の施設

公の施設名称	佐賀市健康運動センター
所在地	佐賀市高木瀬町大字長瀬2553番地
施設概要	1. 敷地面積 59,971.45㎡ 2. 建物面積 4,769.23㎡ 3. 建物構造 鉄筋コンクリート造、鉄骨造1階建(一部地階) 4. 竣工 平成16年5月10日 5. 施設内容 プール(メインプール25m×7コース、可動床・流水プール、こども用プール、ジャグジー) トレーニングルーム、スタジオ、多目的室、更衣室・浴室 多目的グラウンド、サッカー・ラグビー場(人工芝、天然芝)、ウォーキングコース 6. 開館時間 平日9時～21時30分、土日祝9時～21時(定休日:月曜日、年末年始) 7. その他 隣接する環境センターのごみ焼却熱を利用する余熱利用施設

2 指定管理者

指定管理者	団体名	サガン・ドリームス/健康科学研究所/古賀商事グループ	指定期間	開始日	平成26年4月1日
	所在地	福岡市中央区天神3-11-20		終了日	平成31年3月31日
選定方法	公募		利用料金の採否	採	

3 指定管理者の管理の実施状況等

①施設の運営業務	1. 施設全体のマネジメント業務 2. 使用の許可及び使用料の取り扱い業務 3. 施設の総務・経理業務 4. 健康づくりに向けた運動指導・相談業務 5. イベント、自主事業の開催を行う等の利用促進業務 6. 業務に関する情報の管理業務 7. プール等の監視業務 8. 市が行う健康づくり推進業務 9. 事業報告書、作業マニュアル等の作成業務 等
②施設の維持管理業務	1. 日常清掃業務 2. グラウンドの維持管理業務 3. 施設内の植栽等の日常管理と散水業務 4. 定期清掃業務 5. 敷地内の緑地及び樹木の剪定、防除等の管理業務 6. 機器設備等の日常点検及び運転操作業務 7. 機械設備等の保守業務 8. プール・入浴施設の衛生管理業務 9. サッカー・ラグビー場の芝生維持管理業務 等
③指定管理者の提案による取り組みとその実施状況	今年度から新たに「サッカー・ラグビー場」の管理運営が追加され、佐賀市初の人工芝・天然芝を有する施設運営に取り組んだ。快適な施設環境のための備品・器具等の設置、質の高い芝生の管理、利用促進のための自主事業や広報活動も行い、人工芝は602件(稼働日数309日)、天然芝は53件(稼働日数52日)の初年度実績となった。※天然芝8月末開始 健康づくり課からスポーツ振興課への所管変更に伴い、スポーツ推進に向けた事業展開にも力を入れ、親子や幼稚園児を対象としたサッカー教室等も実施した。健康増進事業では個々の体力や体調に配慮した個別指導と集団指導を基本に様々な自主事業を実施。個別指導のツールとして、今年度から新たに個人の体力年齢が即時にわかるプログラムを導入し、日頃の運動成果を明確な数値に置き換えフィードバックすることで、運動習慣の継続化を図った(測定者数510人)。集団指導では運動継続に必要な「楽しみ」と各世代のニーズに合わせた内容を提供した結果、スタジオの自由参加レッスンは12,117人(前年比106%)、プールは16,912人(前年比106%)。自由参加教室は5,705人(前年比120%)と例年以上の参加者を集客することができた。

施設利用状況(量)を示す指標名	単位	指定期間中の実績			
		平成25年度	平成26年度		
① 延べ利用者数	人	(176,082)	183,157		
② 1日平均利用者数	人	(570)	589		
③ しょうがい者の1日平均利用者数	人	(65)	69		
④ 高齢者の1日平均利用者数	人	(170)	193		
⑤					

4 利用者ニーズ・満足度等の把握(実施していない場合は、その理由)

①利用者ニーズ・満足度等の把握実施方法	
CS(市民満足度)アンケートを実施 実施期間 平成26年9月9日(火)～14日(日) 6日間 対象人数 473人 実施方法 施設に関わる16項目の記載について、「満足度」を4段階方式で評価。具体的な感想や意見は自由記述方式 評価基準 「1:極めて不満、2:不満、3:満足、4:大いに満足」	
②ニーズ等の把握結果	③把握結果等への対応状況
総合的な満足度は4段階評価で3.28 満足度の上位項目 1.「受付の説明の分かりやすさ3.23」、2.「利用手続きの容易さ3.22」、2.「施設の場所のわかりやすさ3.22」、3.「指導員のアドバイスの具体性、わかりやすさ3.20」 満足度の下位項目 1.「備え付けの器具・備品の数2.93」、2.「備え付けの器具・備品の種類2.93」、3.「器具・備品の手入れの行き届き具合3.03」	例年トレーニングルームの事象であるが、満足度の下位項目にある器具・備品への不満は、利用者数が伸びることで顕著となり、今年度は前年よりポイントを落とし2点台にまで割り込んだ。定期的な機器の点検を実施し、未然に故障を避けてはいるが、稼働時間の延伸により機器への負担もかかり故障のリスクが高い状況。そのため最も稼働率の高いトレッドミル1台と、自転車エルゴメータ2台を市の備品として更新して頂いた。 また医療用のマッサージ機器が再三故障し使用できない状況だったが、代替機を購入し対応した。

5 指定管理料およびその内訳(指定管理者の収入)

(単位:千円)

区分	平成26年度決算					
指定管理料	156,597					
うち修繕費						
うち備品費						
うち光熱水費						
摘要(補足説明等)						

6 使用料等の収納状況(市の収入)

(単位:千円)

区分	平成26年度決算					
使用料						
光熱水費等使用者負担金収入						
その他の収入						
合計	0					
摘要(補足説明等)						

7 指定管理者の自己評価

佐賀市待望の本格的なサッカー・ラグビー場の開設ということで、指定管理者自身も従来までの体制からサッカー運営の専門業者と協働し、新たな事業体として施設管理運営に取り組んだ。サッカー・ラグビー場に関しては、必要とされる器具・備品を備えるために、収支状況を考慮しながら積極的に経費に充て利便性の向上を図った。競技団体からの利用の問合せも多く、週末には大会・試合でほぼ予約が入り利用を待ち望んでいる市民も少なくないが、平日の利用にはまだ空きがあるため今後の課題として取り組んでいく。

健康運動館では、前年の過去最高を7,000人余り上回る利用者数となり、開設から11年経過しても利用増の勢いはまだ止まらない状況。利用者数の増加については様々な要因はあるが、接客サービス向上のための指導員接遇研修の実施や、老朽化が進む施設保全のために積極的な修繕を行い、快適な施設環境に努めたことも要因の一つと考えている。

一方、プール、トレーニングルーム共に利用人数は飽和状態に近く、混雑による様々な意見やトラブルも起き、活況ゆえに事故等による安全上の問題も懸念されるため、より一層安全管理に意識を向けながら取り組む必要がある。

8 市による指定管理者の評価

平成26年度よりサッカー・ラグビー場(天然芝、人工芝各1面)を整備し、指定管理施設に追加した。サッカー・ラグビー場は天然芝や人工芝の維持管理など専門的な技術が必要であるが、適切な運営を行い、大きな問題もなく、利用者からも好評を得ている。施設の設備や機器の老朽化が進む中、日々の点検、必要な維持補修など適切な対応をされている。開設から11年経過しても利用者数が伸び続けているのは指定管理者の適切な施設の維持管理、利用者サービスによるものと評価している。

今後も市民のスポーツや健康づくりの拠点として、利用者の視点の立った管理運営を行っていただきたい。